

あさがお通信

目次
一、理事長挨拶
二、職員のご報告
三、職員のご報告
四、職員のご報告

頌春の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素の当法人の運営・活動に対するご理解・ご協力に深く感謝申し上げます。

さて、2015年の尾崎所長紹介に引き続き、近澤事務局長か中原副所長の紹介をしようと考えたのですが、二人とも真面目過ぎて皆様の笑いをとるネタが見つかりません。これは管理職としては失格？とも思うのですが、二人の真面目さは同じ真面目でも少し違います。事務局長は目標を設定するとそこに至る手段を本当に真剣に検討し、しかるべき道程が決まると目標に向かってまっしぐらに走ろうとする真面目さ。漢字で言えば「剛」という感じです（健康のためランニングをすると体重が15キロ減になるまで走り、健康診断で医師に注意されたというエピソードも）。他方、副所長はいつも笑顔をやさず目の前の一つ一つの課題に対して周囲を見ながら丁寧に対応しようとする真面目さ。漢字では「柔」がよく当てはまると思います。古い兵法書に「柔よく剛を制す」という言葉があり、後に「剛よく柔を断つ」という言葉が付け加えられたよう

ですが、事務局長と副所長を見ていると、この得難い人材の剛と柔の協働は大切だと痛感します。因みに、尾崎所長も勿論真面目ですが、漢字に例えるなら「福」でしょうか（福々しい真面目さということですが）。今の中堅職員が管理職になった

時、どんな漢字で表現されるでしょう。今は「静」の面が強く出ていても、自然と「芯」が露わになってくる人もいるでしょうし、尾崎所長のような「福」に化ける職員もいるかもしれません。考えると楽しみです。

雑談めいた話になってしまいましたが、組織の維持・前進のためには組織内の多様な人材の協働、そして外からご支援下さる方との協働が不可欠となります。本年も旧年以上のご支援、ご指導を賜りたく、お願い申し上げます。次第です。

理事長 竹下育男



伊藤 尚

- ① 『チヨイ波乱の年』でしたが、なんとかなるもんですね。
- ② パアア～ッとやりたい！…いや、なんとか無事にのりきりたい…。

尾崎 史

- ① 『赤にあっぱれ！』カープはもちろん、第2のふるさと、信州上田も、そして、ワインフェスタで染まりました。
- ② 新しいことに挑戦します。何をやるかは決めています、秘密です。

大野 友利子

- ① 『筋トレの成果は如何程！？』張り切って始めたものの、寒くなってくるとつつい足は家の方へ…。
- ② しまなみ海道を自転車で渡りたい！！

高山 範子

- ① 『行動力』今までの自分より、少しばかりですがアクティブに行動できたと思います。
- ② 「婚活」結果はともなわずとも行動することに意味があると信じて！！

篠塚 淑子

- ① 年々探し物は増えるし、何事をするにも時間がかかって目の前の事をこなすのが精一杯の一年でした。
- ② せめて一週間、いやひと月は先を見通して行動できるようにしたいです。

千賀 なぎさ

- ① 水鳥を目標にすごしてきました。“優雅な水鳥になりたいければ、絶え間なく足を動かす。”
- ② 家族や友人との時間を増やす！

大津市権利擁護
サポートセンター



中原 一隆

- ① 「カープ優勝おめでとう！」です。25年間待ち続けた甲斐がありました。今年は日本一だ～！
- ② 権利擁護サポートセンター&障害者虐待防止センターも2年目に突入します。受け身の姿勢ではなく、積極的な支援を心がけ、地域に頼られるセンターを目指します。

楠本 幸

- ① 一日でも早く仕事に慣れることが出来るように、頭と気持ちをフル回転させて過ごした一年でした。
- ② 原付バイクを乗りこなし、遠くまで行けるようになる！（今は全く乗れないので）

岸場 千晶

- ① 権サポの役割を考えながら、「一歩一歩前進！」の一年でした。
- ② 1. しっかりとゆっくり聴いて、きっちりとスピーディーに対応！
2. フルマラソン自己ベスト更新！

岩崎 良江

- ① 激動！です。仕事にプライベートに、とにかく多忙で心身揺れ動いた年になりました！
- ② 安定！です。2016年が、あんまりにも多忙で、慌ただしかったので、安らぎ、安定した日々を過ごせたらと思います。



孝根市権利擁護
サポートセンター
禰(たすき)

禰(たすき) 新人職員紹介

井狩 英章 (いかり ひであき)

今年から禰でお世話になります。約20年間、高齢者福祉施設に勤めていました。新しい分野での仕事となりますが、しっかり勉強していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

井狩 英章

- ① 葛藤の1年でしたが、新たな道に進む転機でもありました。
- ② こつこつと努力することで、視野を広げたいです。



あさがお
本部



近澤 貴徳

- ① あっという間に過ぎ去った。
- ② 流暢な英語でやり取りできるようになること。

岡本 紗依

- ① 『進展』1年目と比べるとケースに関わる機会も増えて、たくさんの経験ができました。
- ② ジムに通って、腹筋を割る！！

椋田 芙規子

- ① 最近、消費生活相談の被害者が、障害者であることが多くなったという。目指す「ノーマライゼーション社会」は遠く霞んでいる。
- ② 初代理事長鎌田先生が掲げられた「この夢」を追って今年こそ一歩でも前進します様に！

水野 朗子

- ① 『ご本人ファースト』活動員としてご本人に寄り添い嬉しいこと、楽しいこと、悲しいこと、たくさんの想いの花を咲かせました。
- ② 5年間ずっと毎週欠かさず買い続けているロト7。そろそろ？！一等を手にした！神ってる2017年にするぞ(^_^)

越野 緑

- ① 『熱願冷諦』井の中の蛙だった私があさがおにお世話になり…。思い込みや既成概念を捨てて“熱い思い”を“冷静な頭”で如何に伝えていけるか、試練でございました。少しは成長したかな…。まだまだ…。
- ② びわこ駅伝あさがおチームに参戦！または応援。もしくは琵琶湖ドラゴンボート大会にあさがおチームで参戦？

伊関 信博

- ① 『初心忘るべからず』新しい職場で、もう一度初心に戻り、仕事に真摯に取り組んだ一年でした。(笑い)
- ② 2017年は格闘技の世界へのカムバックを目論んでいます。身体がかつてのように動くなあ…。

菅 浩一

- ① 障害者虐待防止を防ぐ ⇔ ひとり一人に応じた適切な支援
- ② 琵琶湖駅伝ではみんなの足をひっぱりました。1/2の新春びわこマラソンを皮切りに今年は身体を鍛える。フレッシュな気持ちで、色々なことを学び、それを自分で使えるようになる。

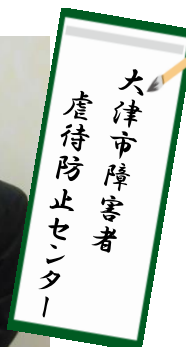
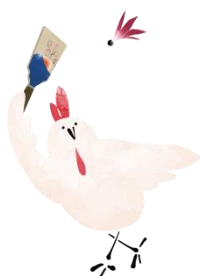


あさがお職員が語る、

2016〜2017。

②今年の夢は？

①昨年の一年間を一言で！



大津市障害者
虐待防止センター

『第二回アジア障害者・高齢者権利擁護支援国際シンポジウム』に参加

12月3・4日、全国権利擁護支援ネットワーク（AS-J）主催のシンポジウム（於：名古屋国際会議場）に参加しました。日本、韓国、中国、台湾、シンガポールから200名近くの方が参加されました。「各国の権利擁護の現状と課題」、「財産管理の現状と課題」、「虐待防止と権利擁護」、「判事と考える後見制度と権利擁護」、「意思決定支援」、「権利擁護における自治体または国の役割」の6つのテーマの報告があり、最後に2日間の総括の討議が行われました。

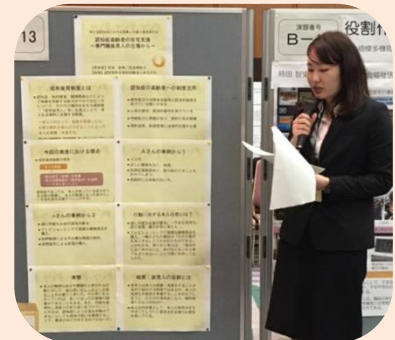


全体を通して意思決定支援が大きく取り上げられていたように思います。また、参加国の進んでいる部分やそうでない部分についても報告がありました。例えば、韓国では発達障害者の信託活用を支援する信託意思決定支援センターがあり、そこが資産に対する自己決定支援と信託を利用した財産管理を行っているとのこと。台湾では法律の中で意思決定支援をうたっていますが、現実には家族の意思が尊重されることが多いとのこと。

本人の意思をいかに確認し、本人の希望する支援に結び付けていくか、各国の制度やアプローチ、支援の進み具合の違いが理解できました。日本でも他国の優れた部分を取り入れて良い支援システムを作りあげていく必要性を感じました。

『認知症にかかる医療と介護の滋賀県大会』で発表

12月18日に滋賀県主催の上記大会（於：ピアザ淡海）が開催されました。この催しは、県内の認知症の医療・介護・福祉・行政等の専門職が日頃の優れた実践事例や研究をポスター発表する大会で、56名の方が発表されました。



あさがおからも岡本が「認知症高齢者の在宅支援」専門職後見人の立場から「という演題で発表しました。本人は初めての経験でしたが緊張した様子もなく（？）、堂々としたものでした。

大会は、発表者の熱い想いと、各所属先の応援団や参加者の熱気で大変な盛り上がりで、医療・福祉等の多職種交流・相互理解も出来て、大変充実した内容でした。今後もこのような機会に積極的に参加して、職員の自己研鑽につなげて行ければと思います。



びわこ男女駅伝 フェスティバル 2016

前回に続き、「チームあさがお」が参加！強豪チームぞろいの今大会、昨年よりもタイムを上げ、91チーム中60位でゴール！



今月のあ **コタツ出し 鉋子とみかん 柿の種 純坊**

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。 あさがお一同

